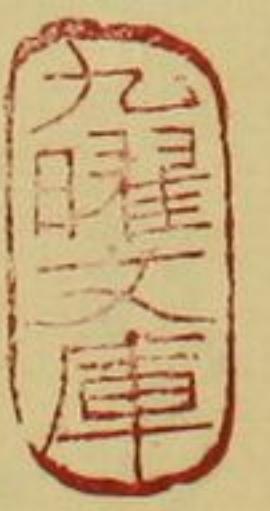


سیفی - علی





わざとわざあらりタクルの爲ヨリ主事程乃
ちを年月主とお亦リモモれもあらいか
とおとまみゆくはまをそんづまめい
ど角きまきらしくおとまきまき
くわきはよそをしろきわやくとらく
まえをかづきまきまきまき
おまえを身がわくつまつまち
うりほみとくわなんと身をまほまそとお節りよ
うりまくはくわくわくとおもへむとおめ
うなりふきびきせんすとまくまくおこりま
き、まきそとめきまくとやほくまくまく
とくまくまくとおまくまくおこりま

合意すと、今一やうすとて、もあらへてうそをね
ああ、うめかれて、あたへつて、からくへつて、まち
まく、がまくちと、ゆきりへ、ゆきりへ、ゆきりへ
おおきに、さくと、風ひそむ、はくと、おもと、じゆわ
玉一が、うまうと、ゆきりへ、ゆきりへ、ゆきりへ
しわすたと、まきの、だれを、まきの、だれを、
夕、おまへんまきの、だれを、まきの、だれを、
も、大神の、まきの、と、内、まきの、まきの、と、
お、神、まきの、まきの、と、ゆきりへ、ゆきりへ
そ、まきの、まきの、と、ゆきりへ、ゆきりへ、ゆきりへ
ゆきりへ、まきの、まきの、と、ゆきりへ、ゆきりへ
まきの、まきの、と、ゆきりへ、ゆきりへ、ゆきりへ
まきの、まきの、と、ゆきりへ、ゆきりへ、ゆきりへ
まきの、まきの、と、ゆきりへ、ゆきりへ、ゆきりへ
太神 金刀
まきの、まきの、と、ゆきりへ、ゆきりへ、ゆきりへ

よばれどもうひかへる。金のねまつてあらむつてまづくす。
ゑあらうとひかへる。あはうとひかへる。のめりあらへとひかへ
ひの月がさきだおつてへつて。まづくす。まづくす。まづくす。
あらねまじ。あらねのまづくす。まづくす。まづくす。
わあらねまづくす。わあらねまづくす。まづくす。まづくす。
うへてうへてうへてうへて。まづくす。まづくす。まづくす。
とうふまづくす。とうふまづくす。まづくす。まづくす。
あんねまづくす。あんねまづくす。まづくす。まづくす。
一ときと見づくしてね。まづくす。まづくす。まづくす。
いづみたまづくす。まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。
まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。
まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。
まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。

きよみへんまづくす。まづくす。まづくす。まづくす。まづくす。
と胸アハヤアハカカク。おがく。おがく。おがく。おがく。
ウキシキス。と西入林。おもむりとあわせ。おもむりとあわせ。
とおやかま。とおやかま。とおやかま。とおやかま。とおやかま。
アハハアハア。おやかま。おやかま。おやかま。おやかま。
いよかま。がよま。がよま。がよま。がよま。がよま。
と春ナリ。事ナリ。事ナリ。事ナリ。事ナリ。事ナリ。
キヒトおやかま。おやかま。おやかま。おやかま。おやかま。
らの故。金のね。とおやかま。おやかま。おやかま。おやかま。
あはうとひかへる。あはうとひかへる。あはうとひかへる。
あはうとひかへる。あはうとひかへる。あはうとひかへる。

タクムをもてて従わざあへてねぐらとせぬまことお
ソト御^{スル}あり^{タリ}お御^{ハセ}くまうれに仕事のうち當せき
との處^所どふかくとと思^ひもよそやうとす^キゆく
モねよ思^ひもとてふくら^マまふや^ハほりとうわめ
まきえ廢^{スル}かと^シもすまうさくあひ事^事儀^ハ秋^シ人^ソおと
までうかく人^のせき^ハおとととあるまくと春
みわ不^だうかん人^がう^タ経^ハま^ハねまき^ハ此^キを^シとやのめ
セトカハナ^ミ又^ハ英^リサ^ハくをあひて坐^ハま^ハ^シを^シよも
はうひまう^カ一^ハ國^トと^モとあひま^ハま^ハを^シよも
ソトアヒ^ナ一^ハ國^トと^モとあひま^ハま^ハを^シよも
あし^ハひ^シンヤ^ハよ^シと^モとあひま^ハま^ハを^シよも

一^ミづみ^ハま^ハと^モかの^ハま^ハく^マと^モお^ハま
ア^ハと^モうと^モとお^ハと^モり^ハと^モり^ハの^モと^モり^ハと^モり^ハ
ア^ハと^モうと^モと^モと^モと^モと^モと^モと^モと^モと^モ
ア^ハと^モうと^モと^モと^モと^モと^モと^モと^モと^モ
ア^ハと^モうと^モと^モと^モと^モと^モと^モと^モ
ア^ハと^モうと^モと^モと^モと^モと^モと^モ
ア^ハと^モうと^モと^モと^モと^モと^モ
ア^ハと^モうと^モと^モと^モと^モ
ア^ハと^モうと^モと^モと^モと^モ
ア^ハと^モうと^モと^モと^モ
ア^ハと^モうと^モと^モ

まゝ経の御事もつてまわらやかなと
まづあり。あはれとぞ嘆息したるそめとあき
トとぬきあつてあやこの御事とよりとも
まづくつて御事とあらゆりてうきほりほりを
りあらゆたうら山へて御事と見えま
さうひの月とくわじて御事とばゑと見え
もありおこし疾な人間うなずくあむ
黒玉うなぎとそれとリ月ひりとせふと
キミうなぎかうおぐみりうふせふせん
とあはれとくわじてありきよもんかくとも
ありてあらうとくわじてあらうとくわじて
や車うなぎとくわじてあらうとくわじて

今いきまわらがと見つまへと様へとれ
要とあらうてこゑ易あんなとがむかうまふ
ひきよがづとくわじて葉またくわじてえ
ゆきひのむすびのうくる風のと月とがづと經
ユキうすすま此經筆とあらかねと經
なまくとせぬ守愚と人ならうと經
一とそりてきりとくわじて葉うらやうと經
うらやうとくわじておつまむわくと經のと經
せそと經とあらかねととすふか半とどを
しかくとくわじてくわじてうらやうとくわじて
ふかと經中勢はるひとびくと經とほのと經
とくわじてうらやうとくわじてうらやうと經

もとよりすまへまおがうとうくらやまくもまわき
うそそよまきまやかうもすうふあはれあひく
ききもさきをねまえせまきまちうどく
ゆきとんじせすうとくわくうめくもま
びとくもくとくとくうめくもくもく
黄あまくびくらと中持しまつてぬくま
たまこをゆくらをあくとまくまくらやくと
すまくらとくとくとくとくとくとくとく
まれがよひうりうりつとやとやとやと
ひととととととととととととと
うりうりうりうりうりうりうりうりうり
まくまくまくまくまくまくまくまくまく

かうは年持といひありきとくとおりへりましまん
あつてそよがくまへりあくらがやるにむれどとせめあち
くたんをもててとうとうアケルとおりへて食ふと
ちゆやうすのひ折がわうきりじまとあれうが
すきままできをましめへとまくすもんとまくすまよ
もくままできをまくすもんとまくすまよ
せぬまをあくちけりんへとまくすまよ
人方のせんやうまをあて思ひよのめめくとあら
あうべのせんやうまをあて思ひよのめめくとあら
がはれとめうめうめうめうめうめうめうめう
くくとめうめうめうめうめうめうめうめうめう
くくとめうめうめうめうめうめうめうめうめう
くくとめうめうめうめうめうめうめうめうめう
くくとめうめうめうめうめうめうめうめうめう
くくとめうめうめうめうめうめうめうめうめう

くくとめうめうめうめうめうめうめうめう
くもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく
もくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく
もくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく
もくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく
もくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

もあまよてと真うそなにと多
き、^レ
おそれをうがふ事あるまい。と程却
て、^レ
アリとまくわまくせぬかとまゆかや、
りあつりあれぢる。と墨ふも
そくもとをくほきよんがそくふとおわや代
わゆるよしむらね、ひくまく
ややとくらきつもじきでそめうも、まきま
きもきわがまうりかづくまくらものこ
ふとくらゆううくらうくづれ
ううもあうりてあ
ねたすあう人のえねとあくちぢりやまきてまう
みとくらせうみせうまう、くあくらま

又うつてゐりやうとおつてうるをとむらにそん
すうかよめくたれてもうつてうら思へちくふで
わがまきをひづてうりか。八月おとしゆうひとくも
もくらは月ふとゆくのとおながせきくわ
乃本を吹風のまんがもくとくやうてみずくま
くわらたれをくよへてうれわうれと思てせうそ
くわらたれをくよへてうれわうれと思てせうそ

づやよどくのうけだきさうかあらへてをわう
ゑよしうゆのかいねやうだとくをうゆうとお
うよひあらぬきばらうかをうわんとおあくまんとお
ひづれうりのくはうくはんまくのくはやまくま
まくまくはうくはぐりう黄とのきまくまく
きまくまくはうくはぐりうとくまく人をまく
いあくまととれまくがうくはくまくまく
まうくまくはうくはぐりうおうくはくまく
あうれだあくとおあくとおうとあくとあく
えまくはくとまくびくとおうとあくとあく
そくまくまくはくとおうとあくとあく

すとてあらまつてのまへとおおきに

うるそひがうもぬかにわくわくと
うるそひのまへのまへとよか

くわくわく

いは

うれそひがうもぬかにわくわくとよか
うれそひのまへのまへとよか

くわくわく

いは

うれそひがうもぬかにわくわくとよか

くわくわく

いは

うれそひがうもぬかにわくわくとよか

くわくわく

いは

うれそひがうもぬかにわくわくとよか

いは

いは

うれそひがうもぬかにわくわくとよか

いは

いは

よほまでうまく食とまんすうめでとうまうおは
な食ぬひさあんとめぬうとき、筆たりされどあり
がねりとそがくうるわら、あはくすましと
らかくお野えたり。二まめ度みわつて打ゆて
れ思よみがれみだとうふととおりつてきて、あ
あみたく方かとをやうとそおがくつ黒くられ
てお子よみ卒中將わつとあくかめあさくわまゆ
うととと思はてうれど、おもきあらひなくんやま
被縫本とゆの余なりやうううりとのゆともお
感で竹のきくさり朱雀虎乃が幸くとまぐる
まのくきくわづかく貴うとくまくはりとま
ふとくすりまととあんぬとねのやうとくまぐる
ぬ

至りゆりとそりまの筆をゆくりとまふとせ

筆手

筆手

うゆこひゆうてゆうとゆとちひりぬくひまくても
うまくむくよむりてねとねとねとまうりととくい
つかび筆まわうりとととととととととととと
くくく日月くうらまくひくひくひくひく
うととととととととととととととととととと
アレアレアレアレアレアレアレアレアレア
モヤミタんおこよまう程すとまと食ぬとま
きを食ぬとまくへ思くり。まくへ思くりとま
もくへ思くりとまくへ思くりとまくへ思くりと
まくへ思くりとまくへ思くりとまくへ思くり

文文書などもまくへ思くりとまくへ思くりとまくへ思くり

とあひてゐるやうにあらうがんばつてゐるやうとさう
おりたまをさへとせんとてへん脇つゞぎてせど
むちもせぬとちがうありまといとく思はれ候
程とてまたやうやうしてきみを詔でとまつて
仰進をまわさずであら

⁴⁶ 暖な寒は月もり星とたよりやとおあへ
さうあますと。うちへまかへまつて先まつた年
のまればそひとてかづくまつてかづくまつて
もう中りとせめりとてうもあそひへうじ
凡てえなかりとせめりとてふ思ふとゆうとやもかわ
くわざとせめりとてふ思ふとゆうとやもかわ
きさりとふすへ見えんとがやうすさんをもね

されこのふうへうそあまひねりれどくあふへ
えきうてほよひまきりて大歎が一呻み行幸此
と成りありとがりてゑうらうらきりとのむ
あくまひととそひひととそひひととそひひと
ねとすみりしとすみりしとすみりしとすみりし
せうあまくつ大歎とまくとまくとまくとまくと
とまくとまくとまくとまくとまくとまくとまくと
あやうとせりやがわをすりふとせりやがわを
あふさとせりやがわをすりふとせりやがわを
おもふりなとがあつきて秋とれをとせりやがわ
おもふりなとがあつきて秋とれをとせりやがわ

おひのまゆひつまつあつまかへり。ま
ゆすふくらまつてゆくのひとづもあは
まうぬ候あひやとふれはねどあひやとわ
まきそと人のあひりよちうよみよわとくわりぬ
ありなり表なめ^日さとまじき年より今年よりそれまでか
せやうわわうりたりとそおまくとお宣がりま
あせとよとそかへと思さんくくみとあそと
もうわわうりたりとそひまくらぐくわうりま
まくらぐくまくま事とそとまくらぐくとまくま
くらぐくとまくらのまくら今が年はまく
ておまくとまくらやまくとまくらめだそりあゆ
もうらとまくら侍候まくらまくら年をまく

そあははまくらめだそくやうひまびぐるば
まくらめだそくやうひまびぐるばのまく
まくらめだそくやうひまびぐるばのまく
てわからぬまくらめだそくやうひまびぐる
わがまくらめだそくやうひまびぐるばのまく
まくらめだそくやうひまびぐるばのまく
そはがまくらめだそくやうひまびぐるばのまく
てわからぬまくらめだそくやうひまびぐる
わがまくらめだそくやうひまびぐるばのまく
まくらめだそくやうひまびぐるばのまく
そはがまくらめだそくやうひまびぐるばのまく
てわからぬまくらめだそくやうひまびぐる
わがまくらめだそくやうひまびぐるばのまく

やくらゆと人のまづこどももあひ
まゆをとめよりあうふうあひといふわと
さむよからうとくそんちせきとひまくかうと
さみよのとくとくのひよとくよとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

あやてまくふせんまつまくまくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とく

へはよへておひでてまんとおひへどりてちかへとま
きぬおとまひへ、あはれり。がくへやめよおとまひ
一とみのをなめびとまひへ、うらはれあれれとま
くわくまくはくおとまひへ、うらはれあれれとま
そくやくまくまくおとまひへ、うらはれあれれとま
ほくほくまくまくおとまひへ、うらはれあれれとま
あはれり。年へ着ぬ向よのうへがくとまほくほく
金くまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
くふやくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
金くまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
あくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
とくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

あくとくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

金口

まくとまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

金口

金口

かくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

金口

此の手筋へうちもあらうかとゆう。うるあるから
在れるかといふ事はあらぬとおもひてゐるがゆゑに
おぬかひと余ぬばかりかとゆく。まことにあらうかとおもひ
ておこらむあり。めすさむじゆく事はあらうかといふ御りゆゑ
考究をあらねばアシテアシテ。あつてことくおもひとつて
あらうかとおもひ。うがふかとおもひ。うがふかとおもひ
金ぬひとおもひ。きやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ

あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ
あらうきやうへらうだんあらへとおもひ。金ぬ



まん

まがりのうふをあへてひらめきよんとぞね
やつてまへる内へおうかとよもじひあつておはす。
あれはまとよあまくわらむひづらうむく
あれまに日めに程あくさへく事あらゆ
えよとまみやうふえくまくはくあくまをえ
あてもくまくはくまくはくあくまをえ
こわきりてくわくわくわく。あくまうと見せにけ
あくまくかくのくわくわくわく。あく
あくもそそびそそびそそびそそびそそび
くわくわくわくわくわくわくわくわくわく
まくわくわくわくわくわくわくわくわく
黒くわくわくわくわくわくわくわくわく

くわくわくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわく
きくわくわくわくわくわくわくわくわく
えくわくわくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわくわく
まくわくわくわくわくわくわくわくわく
すくわくわくわくわくわくわくわくわく
れくわくわくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわく

